

# えほんだより

まことさつなえ保育園  
令和5年9月6日発行



8月は暑い日々が続きましたが、徐々に秋の風を感じるようになり、過ごしやすくなってきましたね。暑い日は沢山お外で水遊びを楽しみつつ、室内では好きな遊具で遊んでいたりと、保育者に「このえほんよんで」とお気に入りの絵本を持ってきて、読み聞かせを楽しむことが日々の日課となってきました。前回の絵本だよりより、絵本の貸し出しを希望されるご家庭が沢山増えました。保育園で読んだことのある絵本や、親しみのある絵本を見つけて「かしてください」と職員室に持ってくる子どもたちの姿を見る度、お家でも絵本を楽しんでいる事が伝わってきて嬉しく感じます。今後もお子さんの気になる絵本がありましたら、気兼ねなくお声掛けください。

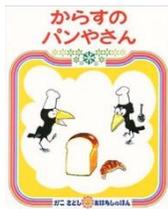
## 保育士のおすすめ絵本紹介 <高崎千世子>

私がおすすめる絵本は「トマトさん」です。

今年の夏は暑かったですね。そんな時に「とまとさん」を読むと身体も心もひんやり~としますよ!

物語は暑くてたまらないトマトさんが、川に涼みに行きたいけれど動けずに悲しんでいるところを虫たちや動物たちに運んでもらいながら川へ行くお話です。「じゃっぷーん」と川へ飛び込むシーンでは読んで自分まで涼しい気持ちになれます。トマトさんの気持ちよさそうな表情がとてたまらない小さい子から大きい子まで楽しめる一冊です。トマトの美味しいこの季節、ぜひご覧ください。

絵本『トマトさん』  
作:田中清代



## 絵本“からすのパン屋さん”紹介



今年のほしふる組では年間を通して『からすのパン屋さん』の絵本をテーマに様々な活動に取り組んでいます。今年のみこリンピックでも『からすのパン屋さん』の要素が散りばめられていますよ。有名な絵本なので内容を知っている方が多いかと思いますが、改めて絵本だよりでもストーリーを紹介できればと思います。

いずみもりにはカラスのお家が沢山あり、その中の一つにカラスのパン屋さんがありました。ある日カラスのパン屋さんに四羽の赤ちゃんが生まれました。赤ちゃんの体は白・黄色・赤・茶色とそれぞれ違った色をしていました。お父さんカラスとお母さんカラスは、白色は「オモチちゃん」、黄色は「レモンちゃん」、赤色は「リンゴちゃん」、茶色は「チョコちゃん」と名付けました。育児と仕事の両立がうまくいかず、失敗が続きお客さんがどんどん減り、段々と貧乏になってしまいました。子どもたちはすくすくと成長し、騒いだりイタズラしたり、おねだりしたりと元気いっぱい!そんなこんなで、作るのに失敗した焦げパンや半焼きパンは子どもたちのおやつとなりました。子どもたちがそのおやつをあんまり美味しそうに食べるので、他のカラスの子どもたちが興味津々!そこから徐々に評判が広がり始めて、お店は大忙しになります。子どもたちも手伝うようになり、家族みんなでアイデアを出し合い、ユニークで美味しそうなパンが沢山できました。評判を聞きつけたカラスたちは競う様にカラスのパン屋さんへと向かいます。評判が評判を呼び大騒動に!風車を使い、整備しなくてはいけないくらいになっていましたが、パンを買ったお客さんはみんなニコニコ帰っていきました。こうしてカラスのパン屋さんは家族みんなで働き、お客さんを幸せにし、立派な素晴らしいお店になりました。

その後の続編として、チョコくんがケーキ作りに挑戦する『からすのおかし屋さん』。リンゴさんが大活躍する『からすのやおやさん』。天ぷら屋さんが火事になったことをきっかけにレモンさんとオモチくんが頑張る『からすのてんぷら屋さん』。さらにオモチくんが蕎麦にも挑戦する『からすのそば屋さん』と、それぞれが成長した後のお話がありますよ。保育園にも絵本がありますのでぜひ読んでみてください☆